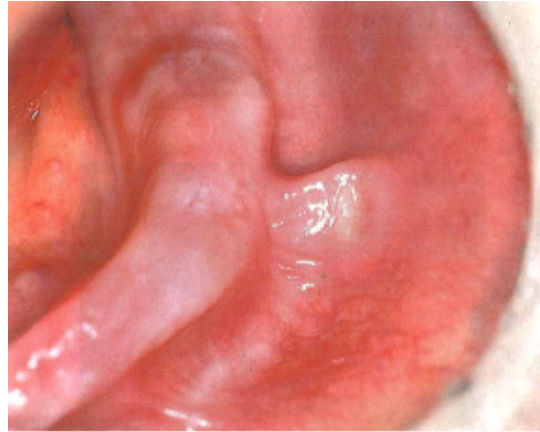


4班発表

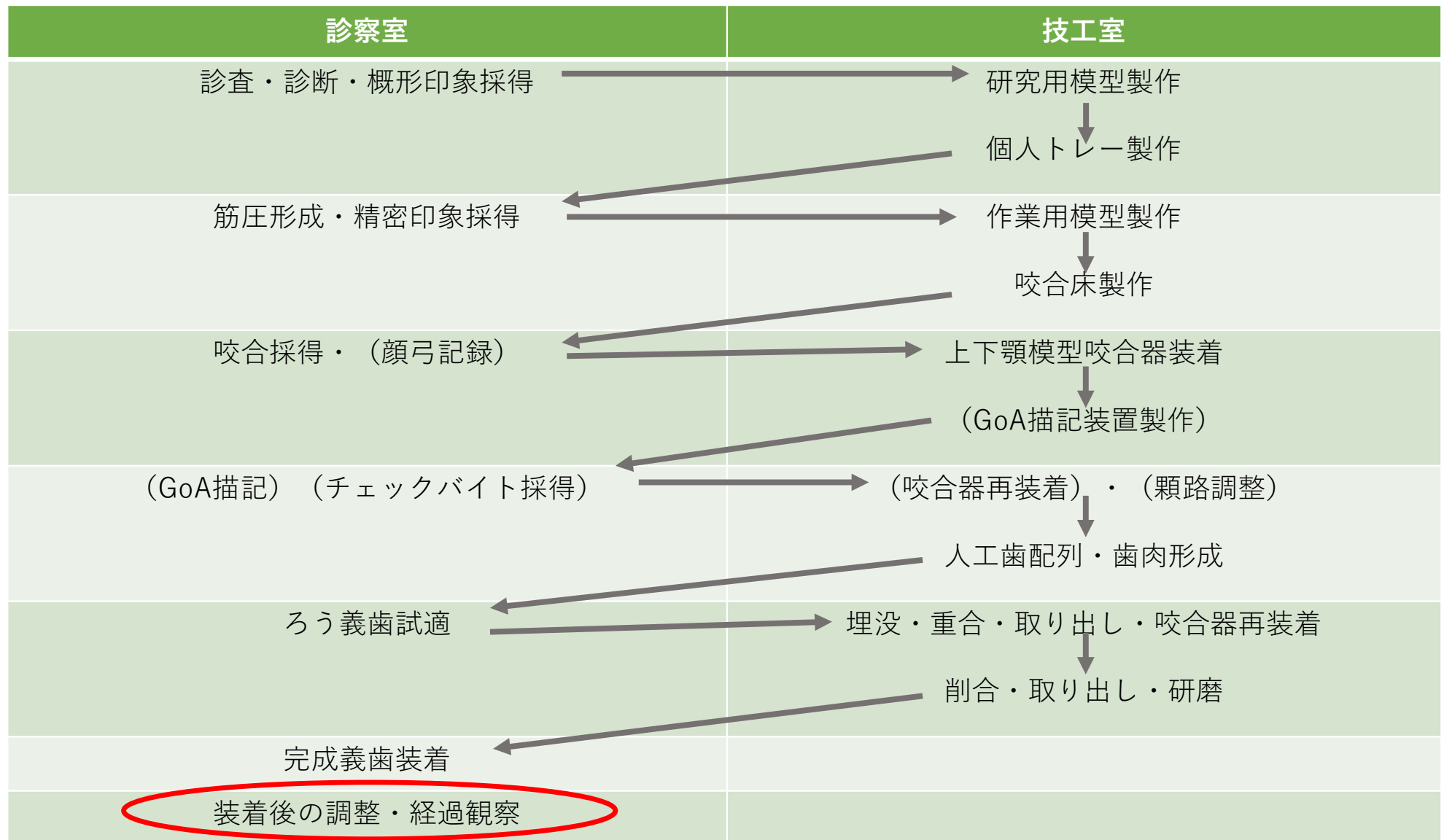
主訴：義歯装着3日後に下顎左側粘膜に疼痛がある。



- 原因として考えられるのは
- ：装着時の床不適合
（形態に関する問題）
 - ：咬合不調和による義歯の動揺
（機能に関する問題）

義歯調整

1. 新義歯の装着感を安定させるための義歯調整
2. 経年変化に対応するための義歯調整



1. 新義歯の装着感を安定させるための義歯調整

調整時期：装着翌日、3日後、1週間後

主訴	形態に関する内容	機能に関する内容
<u>咀嚼時疼痛</u>	過長な床縁 義歯床粘膜面の不適合 リリーフ不足	咬合不調和による義歯の動揺 (咬合調整の不備)
<u>維持・安定の不良</u>	過長もしくは短い床縁 不良な床縁形態 リリーフ不足 不十分なポストダム	咬合不調和による義歯の動揺 (咬合調整の不備)
咬舌	舌側寄りの臼歯部人工歯配列 舌背より低い臼歯部人工歯配列 人工歯のオーバージェット不足(舌側咬頭)	低すぎる咬合高径 不十分な義歯への慣れ
咬頬	人工歯のオーバージェット不足(頬側咬頭) 頬側寄りの臼歯部人工歯配列	低すぎる咬合高径 不十分な義歯への慣れ
構音障害	人工歯排列位置の不良 口蓋形態の不良	高すぎる咬合高径 不十分な義歯への慣れ

2. 経年変化に対応するための義歯調整

さまざまな変化への対応

生体の変化（顎堤、義歯床下粘膜）

義歯の変化（人工歯、義歯床）

粘膜調整

リライン

リベース

修理

義歯調整のフローチャート

義歯床粘膜面の調整

1. 義歯床の破折の点検	光に透かすことで、義歯床が破折していないか
2. 義歯の点検	義歯床粘膜面の辺縁形態、小突起の有無
3. 手指圧下での調整	辺縁の高さ、床粘膜面全体の適合
4. ロールワッテ介在下での調整	咬合圧下での疼痛の有無

人工歯の咬合調整

5. 咬頭嵌合位での調整	臼歯部歯列全体が均等に咬合接触するか この調整過程での粘膜面の疼痛は、 <u>床内面の調製を行わない</u>
6. ロールワッテ介在下での 疑似咀嚼運動下での調整	疑似的な咀嚼運動での疼痛の有無
7. 偏心運動時の調製	側方運動時での疼痛は、咬合調整による両側性平衡咬合の確立
8. 最終確認	咬合や粘膜面の適合性に問題がないか
(9. 患者指導)	(義歯の着脱方向、清掃方法、夜間の取り扱い方法について)

実習書参考

必要な検査

- ・ 粘膜適合検査
 - フィットチェッカー
 - デンスポット
 - デンフィット
- ・ 咬合接触検査
 - 咬合紙

粘膜適合検査材

フィットチェッカー（シリコーン系）

粘膜面全体または部分の静的検査

義歯床の不適合部の検査（接触や空隙量）

デンスポット（Denture Adjusting Cream）（ペースト系）

粘膜面全体または部分の動的検査

義歯床の不適合部の検査（床過圧部）

デンフィット（ペースト系）

粘膜の発赤部に部分的に行う

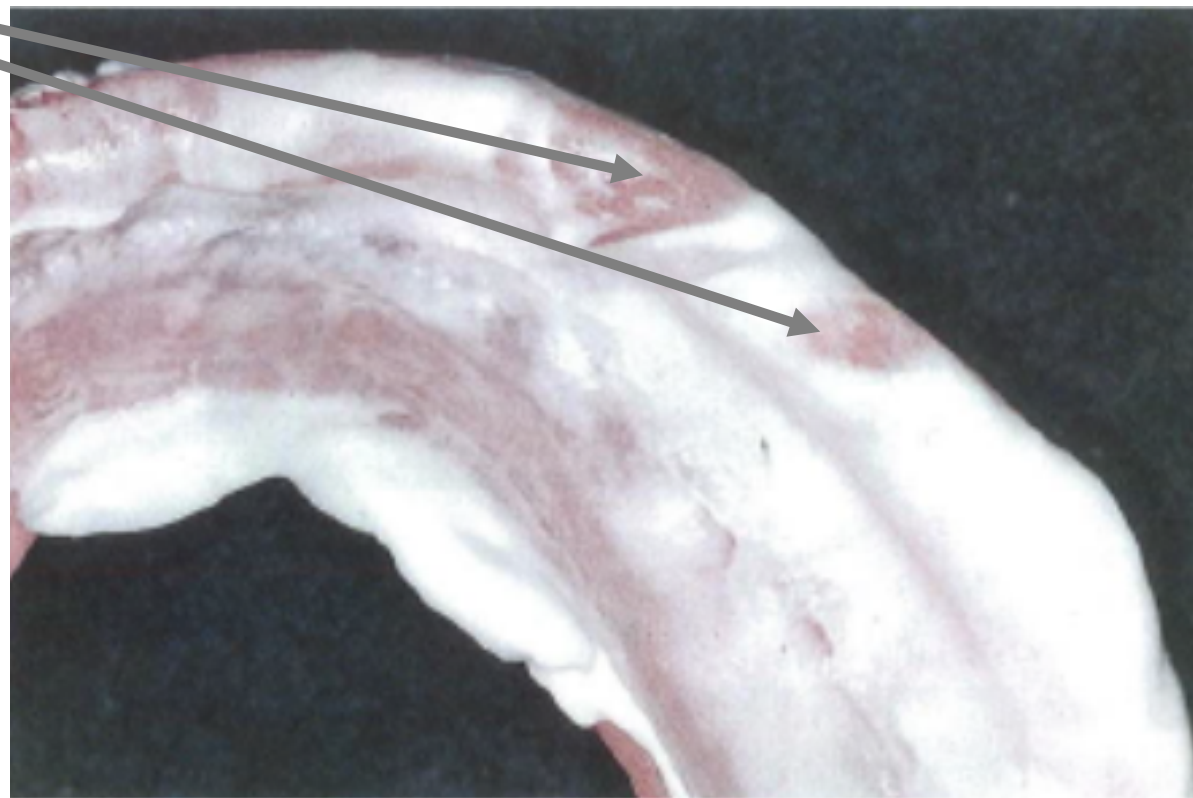
床過圧部の検査

粘膜適合検査の結果

手指圧での粘膜適合検査では
左側床縁に接触痕があり

粘膜には
腫脹を認められた

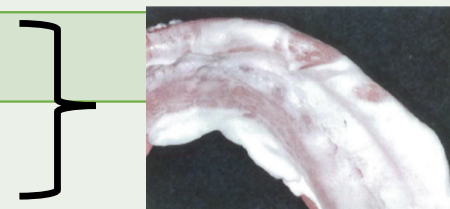
そのため
粘膜面^の調整を
行う



義歯調整のフローチャート

義歯床粘膜面の調整

1. 義歯床の破折の点検	光に透かすことで、義歯床が破折していないか
2. 義歯の点検	義歯床粘膜面の辺縁形態、小突起の有無
3. 手指圧下での調整	辺縁の高さ、床粘膜面全体の適合
4. ロールワッテ介在下での調整	咬合圧下での疼痛の有無



人工歯の咬合調整

5. 咬頭嵌合位での調整	臼歯部歯列全体が均等に咬合接触するか この調整過程での粘膜面の疼痛は、 <u>床内面の調製を行わない</u>
6. ロールワッテ介在下での 疑似咀嚼運動下での調整	疑似的な咀嚼運動での疼痛の有無
7. 偏心運動時の調製	側方運動時での疼痛は、咬合調整による両側性平衡咬合の確立
8. 最終確認	咬合や粘膜面の適合性に問題がないか
(9. 患者指導)	(義歯の着脱方向、清掃方法、夜間の取り扱い方法について)

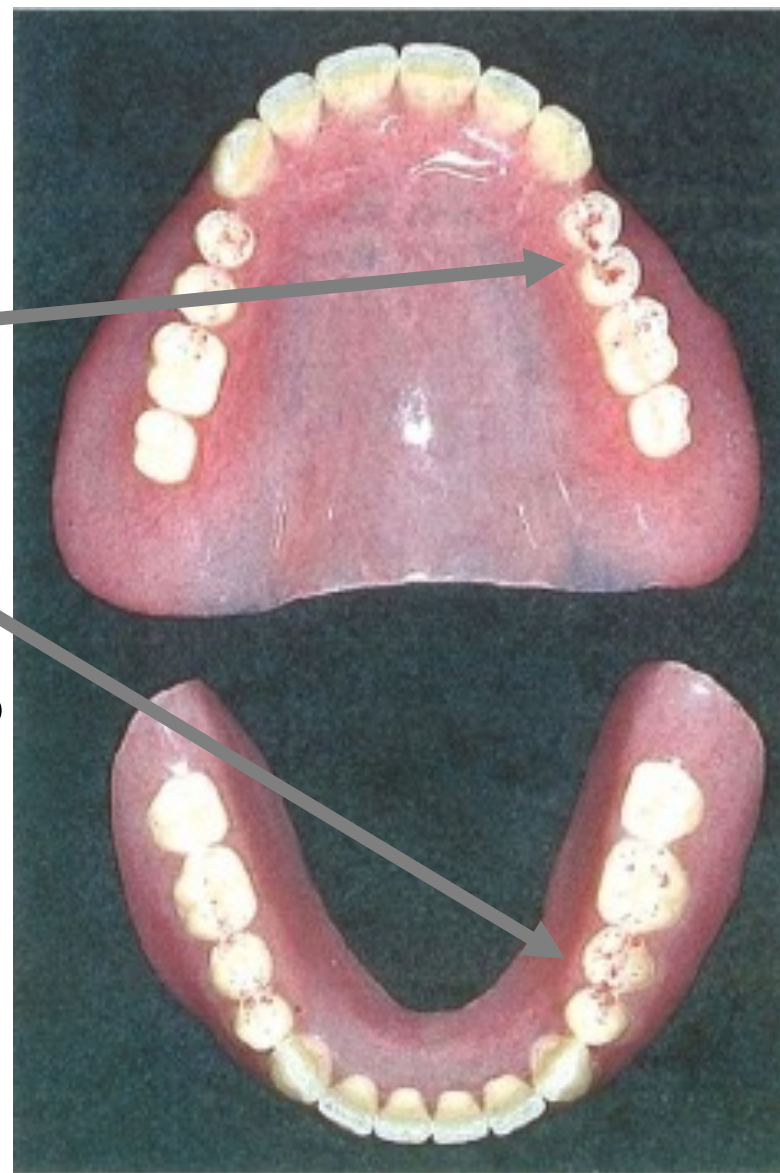
実習書参考

咬合接触検査の結果

咬合接触検査

上顎左側小臼歯部
に強い接触

粘膜の問題をクリアしたため
人工歯の咬合接触状態の
調整を行う



術式に必要な器具および材料

粘膜面の調整

適合試験材

(即時重合レジン パイル皿 筆)

カーバイドバー

ビッグポイント (茶・灰)

口腔外バキューム

不足部への
レジンの築盛

咬合調整

咬合紙 (赤・青)

咬合紙ホルダー

カーボランダムポイント (フィッシャーバー
カーバイドバー)

口腔外バキューム

裂溝の付与

他、遁路の形成

粘膜面の調整

1. 適合試験材による適合状態の確認
2. 接触が強い部分の削合
- (3. 接触が足りない部分の築盛)
4. 削合・築盛面の研磨

義歯調整のフローチャート

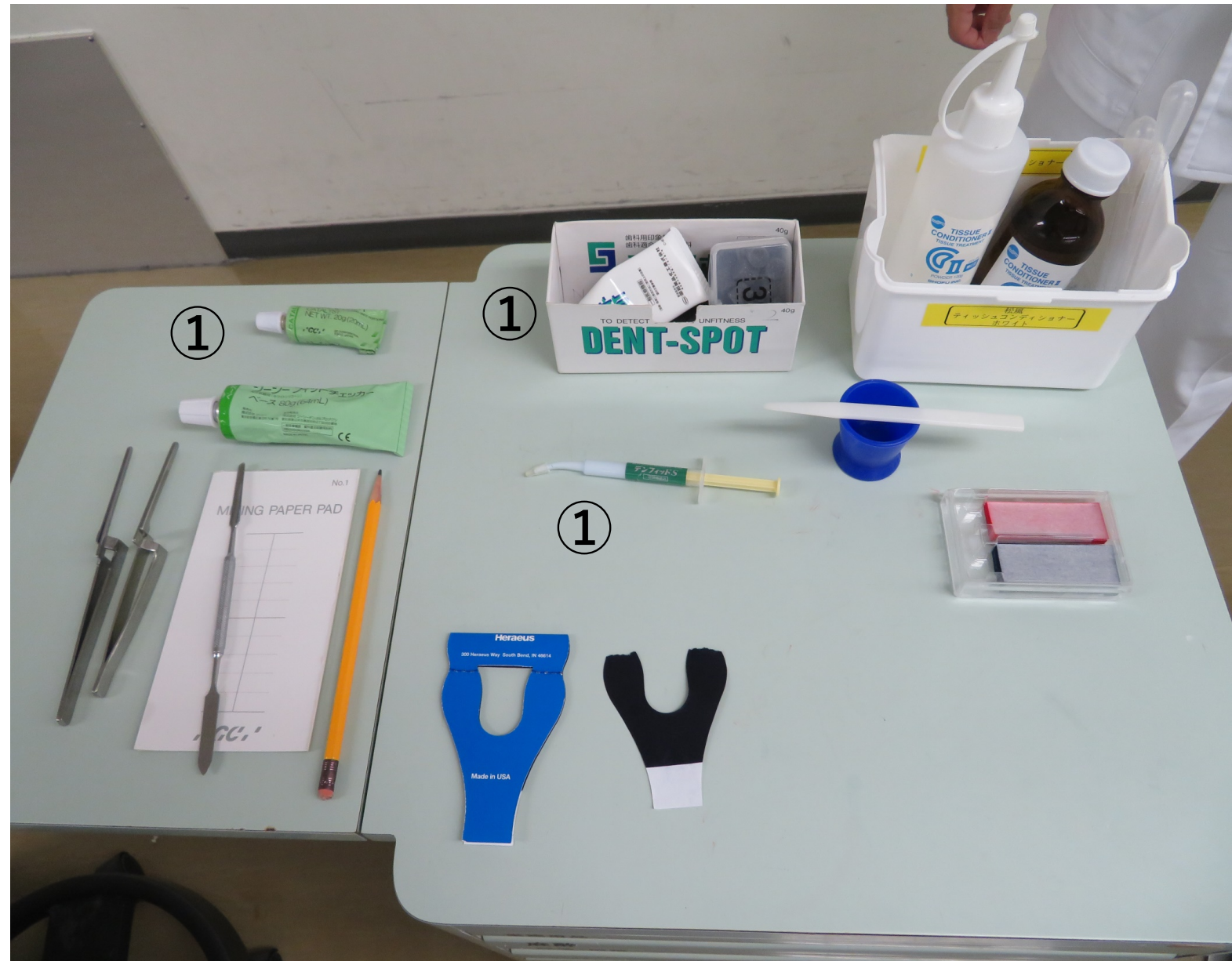
義歯床粘膜面の調整

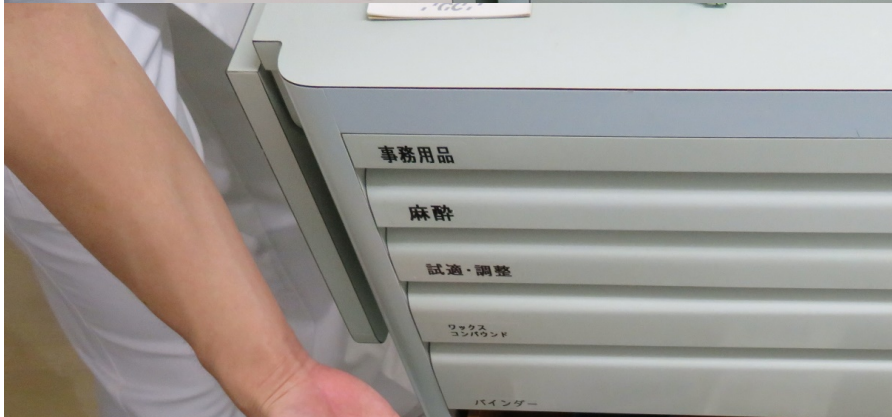
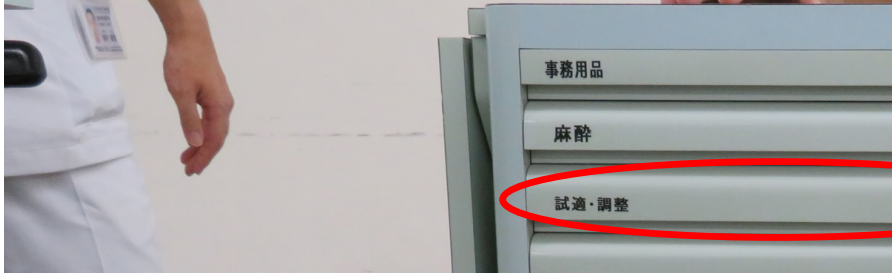
1. 義歯床の破折の点検	光に透かすことで、義歯床が破折していないか
2. 義歯の点検	義歯床粘膜面の辺縁形態、小突起の有無
3. 手指圧下での調整	辺縁の高さ、床粘膜面全体の適合
4. ロールワッテ介在下での調整	咬合圧下での疼痛の有無

人工歯の咬合調整

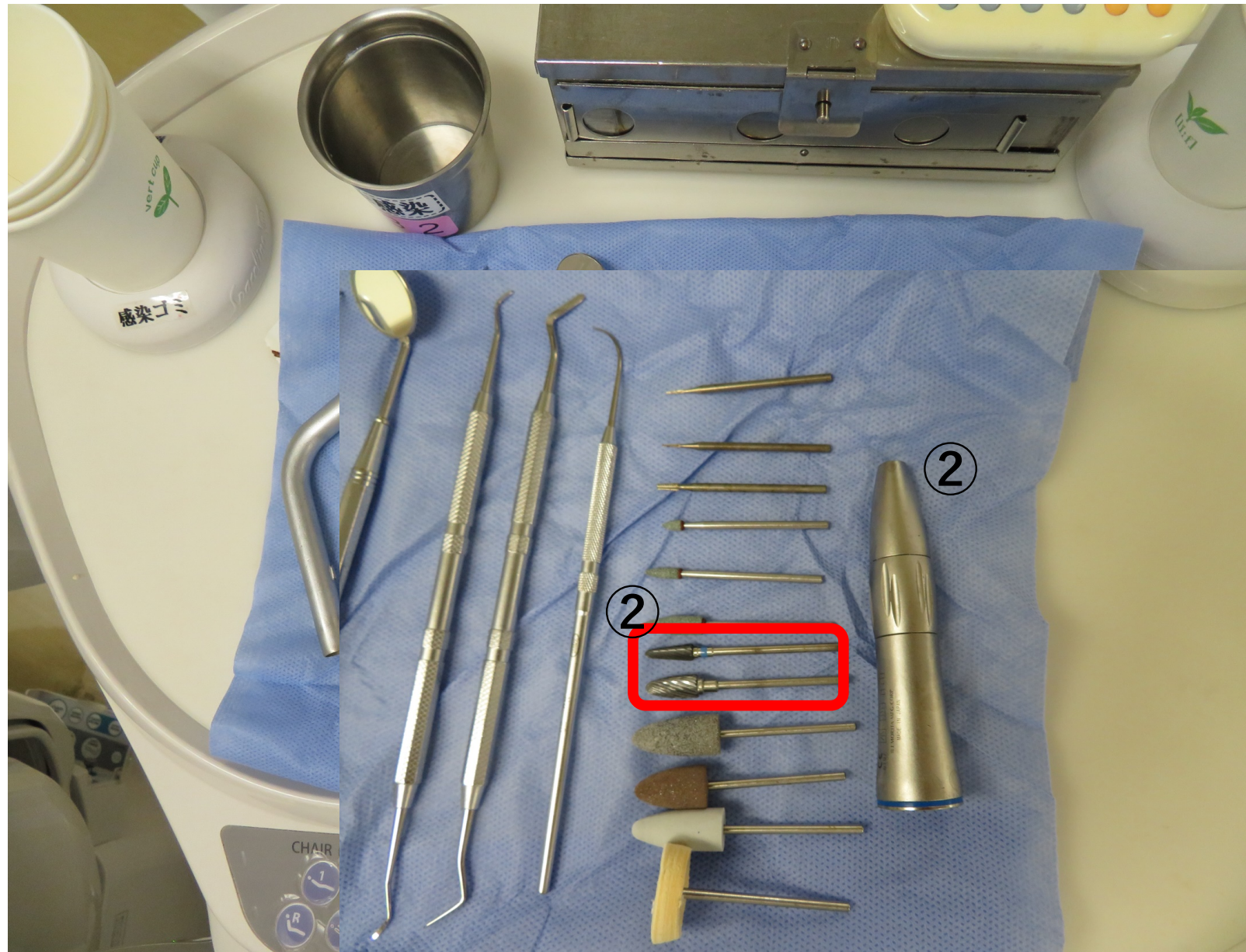
5. 咬頭嵌合位での調整	臼歯部歯列全体が均等に咬合接触するか この調整過程での粘膜面の疼痛は、 <u>床内面の調製を行わない</u>
6. ロールワッテ介在下での 疑似咀嚼運動下での調整	疑似的な咀嚼運動での疼痛の有無
7. 偏心運動時の調製	側方運動時での疼痛は、咬合調整による両側性平衡咬合の確立
8. 最終確認	咬合や粘膜面の適合性に問題がないか
(9. 患者指導)	(義歯の着脱方向、清掃方法、夜間の取り扱い方法について)

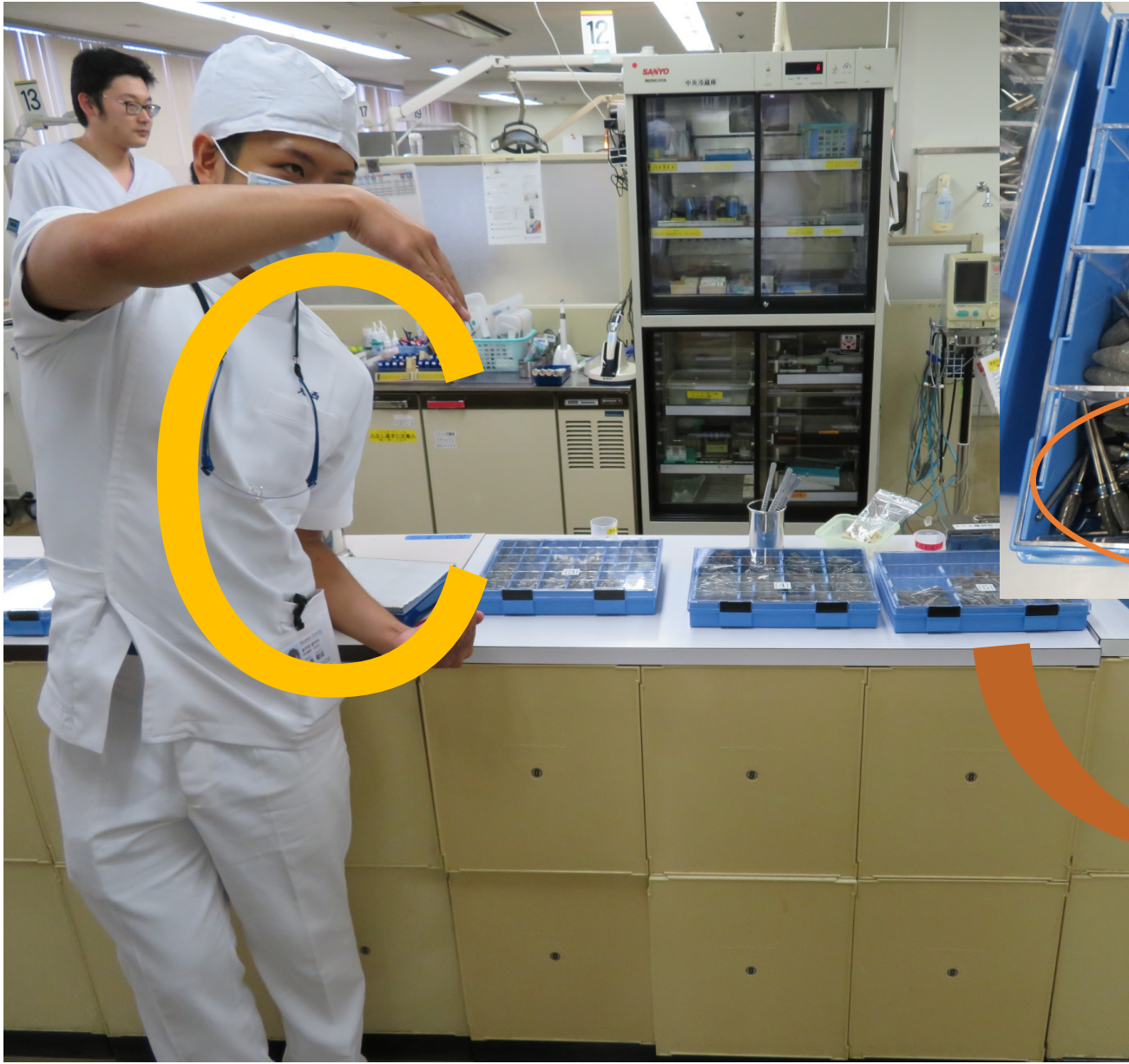
① 粘膜適合状態の 確認





② 強い接触部位
の削合







④ 粘膜面の研磨





咬合調整

5. 咬頭嵌合位での咬合接触部位の印記

6. 接触が強い部分の削合

7. 偏心位での咬合接触部位の印記

8. 接触が強い部分の削合

(フルバランスドオクルージョン)

9. 削合面の研磨

義歯調整のフローチャート

義歯床粘膜面の調整

1. 義歯床の破折の点検	光に透かすことで、義歯床が破折していないか
2. 義歯の点検	義歯床粘膜面の辺縁形態、小突起の有無
3. 手指圧下での調整	辺縁の高さ、床粘膜面全体の適合
4. ロールワッテ介在下での調整	咬合圧下での疼痛の有無

人工歯の咬合調整

5. 咬頭嵌合位での調整	臼歯部歯列全体が均等に咬合接触するか この調整過程での粘膜面の疼痛は、 <u>床内面の調製を行わない</u>
6. ロールワッテ介在下での 疑似咀嚼運動下での調整	疑似的な咀嚼運動での疼痛の有無
7. 偏心運動時の調製	側方運動時での疼痛は、咬合調整による両側性平衡咬合の確立
8. 最終確認	咬合や粘膜面の適合性に問題がないか
(9. 患者指導)	(義歯の着脱方向、清掃方法、夜間の取り扱い方法について)

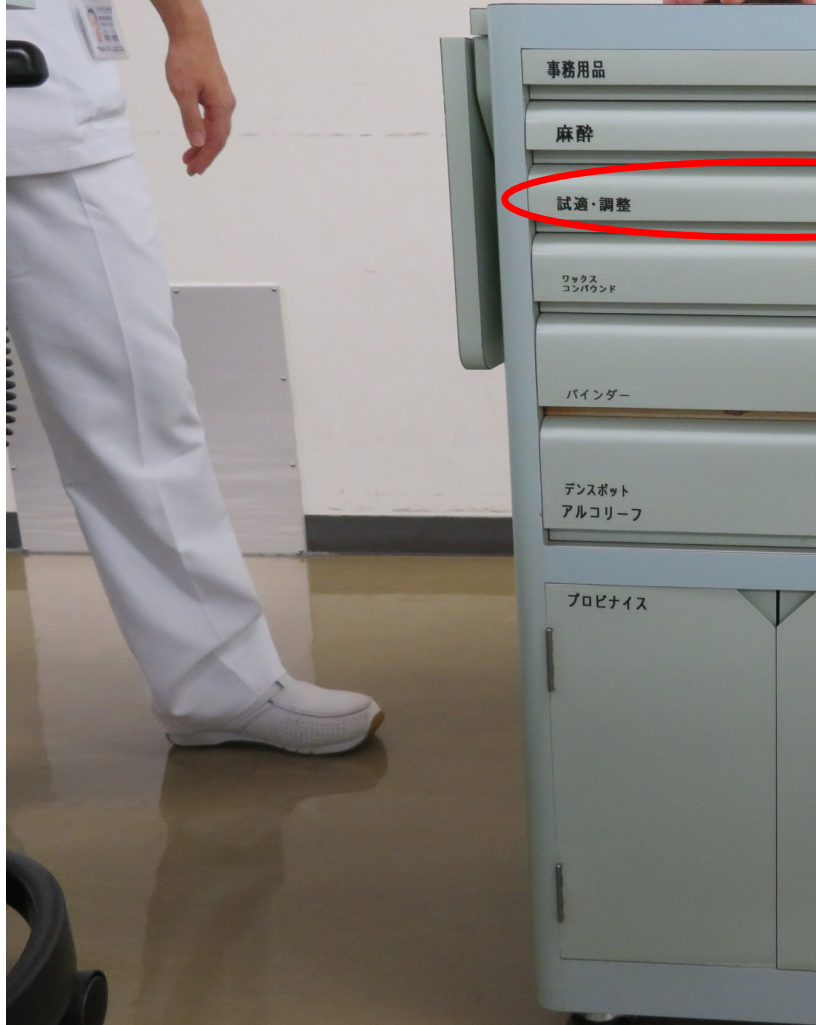
⑤ 咬合接触部位 の印記

ちなみに

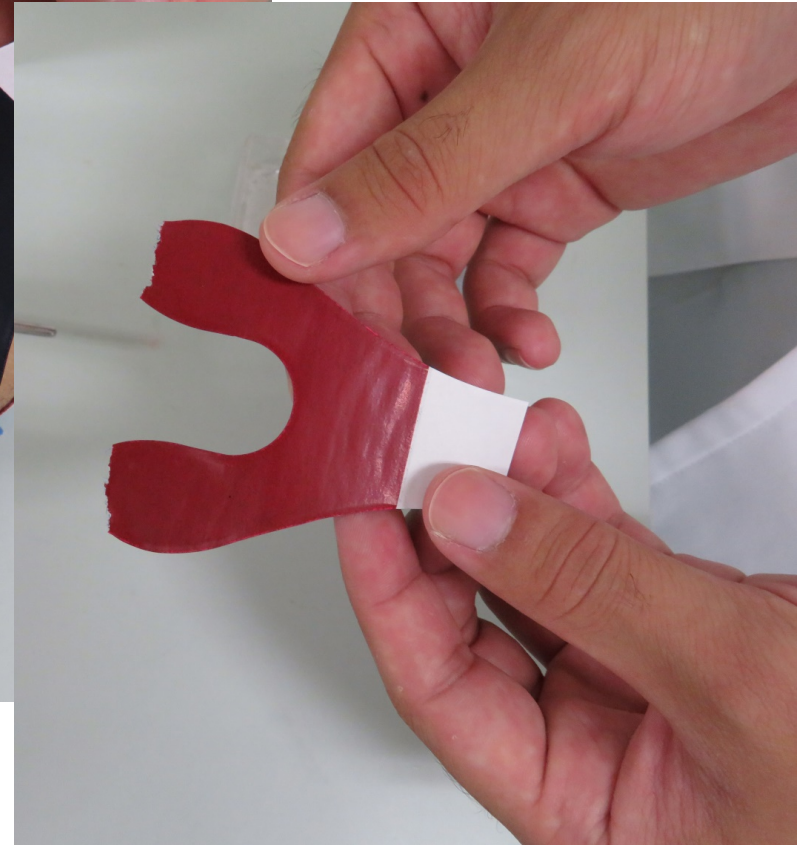
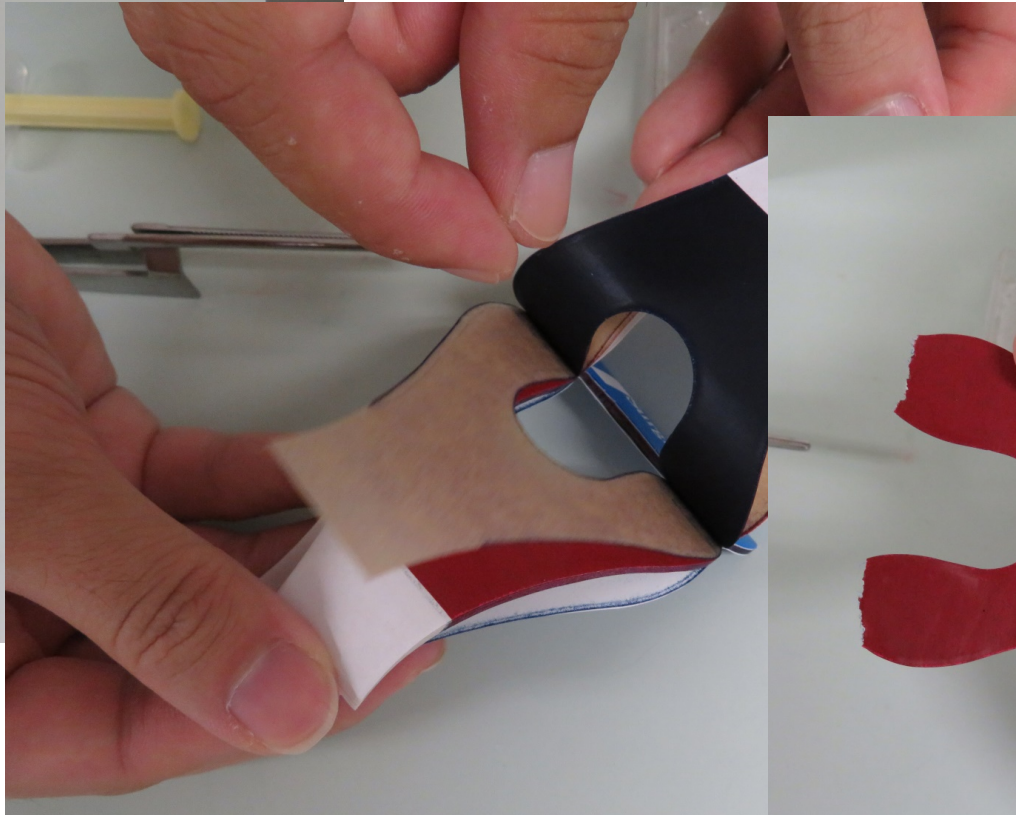
⑤の咬合紙
厚さ 30 μ m
前後

⑤'の咬合紙
厚さ 60 μ m
前後

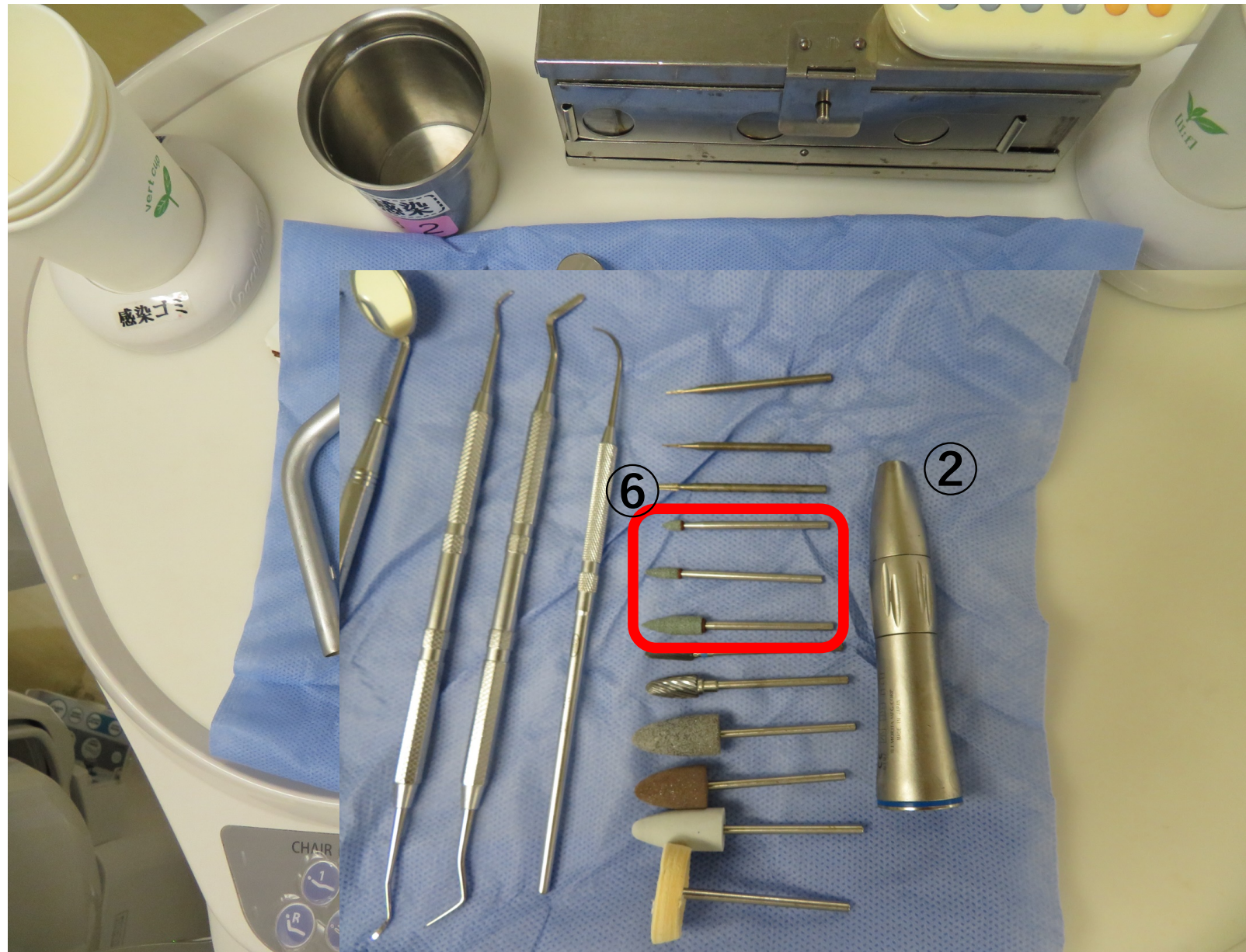








⑥ 強い接触部位
の削合





おまけ
グミゼリーによる
咀嚼能率評価法

